

会議の名称	議員定数・報酬等検討 特別委員会 政務活動費分科会	開催月日・令和7年4月24日 開会時間・午前・午後11時05分 閉会時間・午前・午後00時02分
出席者	後藤 徹 安井 智子 川柳 雅裕 後藤 國弘 南谷 佳寛 山田 紘治	
欠席者		
オブザーバー	副議長 原 一郎	
傍聴者		
説明のために 出席した者	藤井議会事務局長、浅井議会総務課長、堀議会総務課長補佐、 森議会総務課主任	
協議事項	・アンケートの内容について	

【開会＝午前 11 時 05 分】

山田座長

ただいまから政務活動費分科会を開会いたします。本日はアンケートの内容について協議いたします。

それではタブレットに格納したアンケート案をご確認ください。こちらのアンケート案について、まず「全般」の 1、2 ページについて、ご意見をお伺いします。

議会総務課長

事務局から定数分科会で出た意見を説明しますので、こちらも参考にいただければと思います。

まず、問 1 の年齢については、書き方を「〇〇歳代」という形にして、さらに、現状は「70 歳以上」としているものを「70 歳代」と「80 歳以上」に細分化します。

次に、全般的なこととして矢印などを用いて次の設問へ誘導する文言を追加します。

最後に、記述欄は枠を設けます。

以上が定数分科会で出た意見になります。

安井委員

アンケートの概要についてお伺いいたします。

議会総務課長

アンケートの対象者は年代別に無作為抽出し、町別の按分は行わない予定です。

発送は 7 月に予定しておりまして、とりまとめた結果は皆様にご報告いたします。

南谷佳寛委員

浅井課長が言われた、定数分科会で出た案でいいと思います。

後藤徹委員

問 5 と問 6 は複数選択可となっていますが、問 4 は複数選択可となっていないので、こちらも複数選択可としたほうがいいと思います。

安井委員

これでいいと思いますが、追加で「男性・女性」を問う設問を設けたほうがいいと思います。どういった方の意見なのか知りたいので。

議会総務課長

そうすると男性、女性だけでなく、LGBTQ の関係もあるので、その他も入れたほうがいいと思います。

〔「その他というか回答しないがあってもいい」と呼ぶ者あり〕

後藤國弘委員	性別については参考として設問にあってもいいと思います。体が男性で心が女性の方は女性として回答するでしょうし、それは何も問題ないことだと思います。 それから、複数選択については意見が多様化しすぎるので、最も興味のあるものを選択するとか、2つまで選択可能とするとか、絞ったほうがいいと思います。そもそもアンケートは最も関心があることを聞くものだと思うので。
議会総務課長	「羽島市の男女共同参画に関する市民意識調査」の中では、性別は「男性・女性・自由記述欄」の3つが設けてありまして、自由記述欄では、「ご自身が認識する性でお答えください」となっています。性別に関する設問を入れるならこういった形にしたほうがいいと思います。
安井委員	複数選択については問4にも文言を入れてもいいと思います。選択数の制限ですが、2つくらいの選択制でいいかなというのが私の意見です。
山田座長	選択する個数について、分科会の意見を決めますか。
南谷佳寛委員	定数分科会のように、出た意見をそのまま報告すればいいと思います。ここで意見を固める必要はないかなと。
山田座長	具体的に数を決めないと分科会の意見にならないような気がいたしますが。
後藤國弘委員	アンケートは最も関心がある事を聴くものだと思うので、例えば設問の中に「支持する政党がない」とか「支持する議員がいない」とか「自分には影響がない」とかいろいろな項目があって、その人にはすべて当てはまるかもしれないけれど、その中でもやはり「市議会が何をするところか分からない」ということが一番言いたい意見なら、それを選んでもらったほうが参考になると思うんです。 なので、私は絞るべきという意見で、具体的には2つに絞ったほうがいいと思います。
山田座長	そのことについて、他の委員の意見を伺います。 〔「2つ選択可能として3つ選択された場合はどうなるのか」と呼ぶ者あり〕

後藤徹委員	「そういうことがあるといけないので、回答制限は設けないほうがいい」と呼ぶ者あり] 私としては、問４にはそもそも複数選択可の記述がないので、問５や問６と同じようにその記述を設けてはどうですか、ということで意見を言いました。
山田座長	「意見として挙げるだけで、決めなくてもいい」と呼ぶ者あり] そういうことであれば、こういった意見が出たということで議員定数・報酬等検討特別委員会に報告する形でお願いいたします。 次に、６ページの政務活動費について、順次ご意見をお伺いいたします。
南谷佳寛委員	今までの分科会で議論した内容が入っているので、これでいいと思います。
川柳委員	アンケートに回答するにあたって、判断材料が少なすぎると思いますね。 例えば、政務活動費の現状の交付額をどう思うかという設問がありますが、これは他自治体の交付額が分からないと判断できないと思うんです。市民ですべて把握されている人はいないわけですし、我々も他自治体との比較資料を見て、羽島市の現状が低いことに気づくんですから。 政務活動費に限らず、あらゆるものに関して他自治体との比較を提示したうえで意見を聴かないと、アンケートをする意味は絶対にはないと思います。
議会総務課長	定数分科会でも同様の意見が出ましたが、他自治体の情報を書けると、アンケート自体が誘導的になってしまう懸念があります。要するに他自治体の政務活動費が羽島市と比較して高額であった場合、増額する方向に誘導してしまう可能性があります。 ですので、定数分科会でもフラットな立場で市民の意見を聴くという結論に至りました。
後藤徹委員	問２では問１で答えた理由を質問していますが、問１の政務活動費の現状の交付額に関する設問で「分からない」

	と答えた人は理由を答えようがないと思うので、そういった人も考慮したほうがいいと思います。
安井委員	こういった形でいいと思います。
後藤國弘委員	このアンケートには参考資料を添えていただくほうがいいかなと思います。議員定数や報酬、政務活動費に関して、他自治体の人口はこれだけで、それぞれこういった人数や金額になっていますよ、というのがあるとアンケートに回答しやすいかなと。 郵送で送るのなら紙1枚くらい入れて説明してもいいと思います、他自治体の平均ですね。
川柳委員	先ほど判断材料として参考資料を添付することは誘導になりかねないと言われましたが、私はアンケートそのものが誘導だと思いますので、そこは気にする必要は全くないと思っています。
安井委員	定数、報酬、政務活動費のそれぞれの羽島市の現状は記載してあるわけですから、それに対する市民の考えを把握したいところもあります。私はこれだけ記載してあれば十分だと思いますし、分からなければ関心を持って調べていただければいいと思います。
川柳委員	最大限譲歩したとしても、政務活動費の説明文は付け加えていただきたいです。政務活動費はこういったものに使えるもので、今までどういった活動に使ってきたとか。 私は、現状のままでは市民から意見を求めるのには不十分だと思います。
議会総務課長	川柳委員のご指摘の部分については載せる予定です。
山田座長	他自治体との比較までは載せないわけやね。
議会総務課長	それは載せずに、制度の説明は載せるつもりです。
山田座長	現状の8万円という金額の多少が分からないでしょう、対比するものがないと。だから僕は参考資料が必要だと思う。我々は8万円では少ないから金額を上げようとしているわけですが、市民には、例えば人口規模が7万人程度の自治体の金額はどれだけ、とかを示さないで。

山田座長	それでも 8 万円がいいと市民は思うかもしれないですが、やはり他自治体との比較を提示しないで回答せよ、というのは違う気がする。定数も報酬も平均値は提示してもいいんじゃないですか。 〔「単純な比較以外にそれに至る自治体ごとの背景があります」と呼ぶ者あり〕 そういう財政的なことを言い出したらそもそもアンケートをとること自体どうかと思う。 こういった問題について一番理解しているのは議員なんです。議員が公平公正に考えて結論を出したらいいように思うんですが。
議会総務課長	今回実施するアンケートの結果が、そのまま結論になるわけではないです。あくまで市民がどう思っているのかを聴くものです。 他自治体との比較はこの分科会でも資料をお示しして議論していただいていますし、それに加えて市民のフラットな意見などを総合的に勘案して議員が結論を出すことになります。議員にお示しした資料をすべて市民に提示すると、やはり誘導的な要素が含まれますので、一般的な市民感覚で現状をどう思うか問うほうがいいと思います。
山田座長	仮に政務活動費は 8 万円ではなく 5 万円、定数は 10 人に減らすという結果がアンケートの 5 割以上を占めたらどうするんですか。 アンケートはとっただけや、議員が決めるんや、そんなこと言っても通らんよ、そんなことは現実的にできない。
議会総務課長	アンケートに従いなさいとは言っていないです。最終的には議員個人の判断として、アンケートや自身で勉強した内容、支援者の考え方、そういったことをすべて含めて議員が判断するものです。
山田座長	アンケートは結果なんです。その結果を無視して議員が自分たちで決めると言ったら、経費も使っているわけですし、それなのに市民の意見を取り入れないことになる。 だから今までもこういったことが議論になったときもアンケートはとっていないわけですよ。私が憂慮しているようなことを考えて、アンケートをしていないんじゃないか

	と思うし、そのほうが一番いいと思うけどね。
議会総務課長補佐	市民の意見を聴く機会はアンケートだけではなく、今後、市民意見交換会や報酬審議会という第三者審議会へ審議をお願いします。 そのときに市民アンケートと報酬審議会の答申が真逆になった場合、どちらを選択するかは議員が決めることですし、市民アンケートの結果がすべてではありません。報酬審議会の答申を参考にするという議会の決定があれば、市民アンケートは無視されても構わないと思います。
山田座長	報酬審議会ですべて決めるんですか、議員定数も政務活動費も。
議会総務課長補佐	報酬とあわせて審議をお願いすれば可能です。
山田座長	審議会のメンバーはどうなるの。
議会総務課長補佐	市長が選任するものです。
山田座長	そこで最終的に決めるのか。
議会総務課長補佐	最後は議員で判断します。 〔「市民アンケートや報酬審議会の答申を参考にして、議会が議案を提出するんですよね」と呼ぶ者あり〕
議会総務課長補佐	そうなります。
議会総務課長	報酬審議会で審議をお願いする前に、議会側で具体的な金額等の案を示す必要があるので、それは今年の秋ごろまでに議会で決めていただきたいと思います。
山田座長	アンケートはどこで活用するんですか。
議会総務課長	アンケートは秋ごろに議員が判断するときの参考資料となります。

山田座長	先ほども言ったように、僕が一番心配するのはアンケートでは、すべてについて現状より下げよという結果が出たのに、議員が上げる案を決定して、それを報酬審議会に審議をお願いした場合ですよ。アンケートは何だったの、となってしまう。
後藤國弘委員	現状の議員定数や報酬、政務活動費の額は記載されていますが、具体的にいくらにしてほしいということを問う設問はないですね。なので、極端な金額等のアンケート結果が出ることは心配しなくてもいいと思います。 アンケートの問い方として、例えば政務活動費の設問では、「同規模人口の自治体の平均」とか、具体的な金額を書く設問はないので、これを参考にすればいいかなと。
山田座長	結果はゼロではないわけですよ。そういったことも考えてアンケートを実施してほしい。
議会総務課長	例えば他自治体との比較資料をすべて出してアンケートを実施したら、本当に従わないといけなくなります。 議員はいろいろなことを勘案して決めるわけです。この分科会でも、もっと活動を深めるにはこれだけ必要だ、といったことを議論したわけですが、そこまでは載せられないですし、そこは議員が判断して最終的な結論を出すところだと思います。
山田座長	僕は極論として言っているけれど、アンケート結果で50%以上を占める結果が出た場合のことを心配しているんですよ。
安井委員	そういった心配も必要ですが、現状の金額に対して、市民がどう思っているのかを聴けるといいと思います。 いろいろな意見は出てくるとは思いますが、私たちの考えを説明する機会もあると思いますし、そこまで心配しなくてもいいと思います。
山田座長	そんな機会はずないと思うし、アンケートの結果が出たら選挙と同一視すべきです。我々は議員定数を削減して、報酬や政務活動費を増額するという検討をしているわけですよ。 そういった中でアンケートをとるわけですが、アンケート結果が私たちの考えと真逆に行ってしまった場合のこと

	を心配しています。もう少し練るべきだと思います。
議会総務課長	議員定数を削減して報酬や政務活動費を上げるということではないかなと思います。そういった考えを示してアンケートをとると、それも誘導になる可能性があります。
山田座長	アンケート自体が誘導ですよ。こういった議論をしている時期にアンケートはあまり重要視しないほうがいいのではないかなと思います。
後藤國弘委員	先ほどからアンケート自体の話になっているので、政務活動費の設問について進めていただきたいと思います。
山田座長	皆さんの意見はお聞きしました。あとは事務局でとりまとめていただけるんですよね。
議会総務課員	参考資料をつけるのかどうか、採決をとっていただけますか。
山田座長	意見を言うだけで、分科会では結論を出さないんじゃないの。
議会総務課員	それは「全般」に関する部分で、政務活動費に関する部分は結論を出していただきますようお願いいたします。
山田座長	それでは各委員の考えをお聞きします。
南谷佳寛委員	資料をつけなくてもいいと思います。
川柳委員	つけなければやる意味はないと思います。
後藤徹委員	参考資料とは別に政務活動費の概要を説明する資料をつけていただけるということですので、つける必要はないと思います。
安井委員	政務活動費自体の説明をしていただければ必要ないと思います。
後藤國弘委員	詳細までは必要ないですが、全国平均くらいはつけても構わないのかなと思います。

山田座長	それではつけないということで。私は添付するべきという意見です。
議会総務課員	政務活動費を説明する資料としては「政務活動費は議員の調査のために使うものである」、「領収書の添付をすることで透明性の確保に努めています」といったことを記載いたします。
議会総務課長	全般的なことについて補足ですが、全国的に議員定数や報酬、政務活動費については頻繁に改定されるものではないです。そういった中で、他自治体と比較して、現状が適正なのかどうかを判断することは難しい部分があります。 そういったことも含めて、フラットな視点で市民アンケートを実施していただきたいと思います。
議会総務課員	先ほど後藤徹委員から、問１で「分からない」と答えた方は問２でその理由を回答できないのでは、という指摘がありましたので、そういった方は問２を飛ばして問３に誘導するような文言を追加するとうことでよろしいですか。
山田座長	今の事務局の意見でよろしいですか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
山田座長	そういうことでお願いいたします。そのほかにご意見はございますか。 〔発言する者なし〕
山田座長	結果については委員長に報告させていただきます。 これにて政務活動費分科会を閉会いたします。ご苦労さまでございました。 【閉会＝午後０時２分】